

(様式2)

校 種	① ・ 中 どちらかに○	学校番号	3 9	学校名	宇都宮市立城山中央小学校
-----	-----------------	------	-----	-----	--------------

平成25年度 学習指導に関する取組

1 学習指導上の主な実態

(1) 学習内容定着度調査などから

- ・ 国語では、話す・聞く能力が、学年のばらつきはあるが、宇都宮市の平均よりもやや低くなっている。また、読む力は中学年が高く、高学年はやや低くなっている。言語についての理解はおおむねできており、漢字を正しく読むこともできるが、正しく書くことは苦手である児童が多い傾向にある。基礎・活用別では、基礎問題は宇都宮市の平均を上回っている学年が多いが、活用問題は下回っている学年が多い。
- ・ 算数では、数学的な考え方、数量や図形についての技能、数量や図形についての知識・理解、技能の3観点ともに、宇都宮市を上回っている学年が多い。基礎・活用別でも上回った学年がほとんどだった。

(2) 学習と生活についてのアンケートから

- ・ 勉強が好きであるかどうかの質問は、学年により肯定的割合にばらつきがある。
- ・ 「学校の授業がわかるか」という質問では、ほとんどの学年で宇都宮市よりやや低くなっている。
- ・ それぞれの教科が好きという割合が宇都宮市よりも全体的に高い傾向にあるが、道徳や学級活動など、自分の考えを述べることが多い学習については、肯定的な割合が宇都宮市よりも低い。
- ・ 家庭学習の時間について、学年相応に取り組んでいるが、個人差も大きい。
- ・ 「授業で習ったことを、その日のうちに復習する」や「その日のめあてを決めて、家庭学習に取り組んでいる」などに、肯定的に回答する児童の割合が他の質問に比べて低くなっている。
- ・ 学習への取り組みについては、席に着き、落ち着いて学習に集中していることが分かる。また、学習したことをノートにしっかりとまとめている児童が多い。

(3) 授業等への取組状況から

児童は与えられた課題に対し、熱心に取り組み、きちんと最後までやろうとする姿勢が見られる。また、作業や体験を通した学習には意欲的に取り組めるようになってきた。24年度も習熟度別学習やかがやきルームにより個に応じた指導も充実し、基礎・基本が確実に身に付いてきている。また、わからないことは、できるだけ自力で追究しようとする姿勢も身に付いてきた。しかし、まだ次のような問題点もある。

- ・ 課題を見つけても、課題が適切でなかったり、解決方法が身に付いていなかったりするために、最後まで自分一人の力で追究しようとする意欲が十分でない。
- ・ 自分の考えをもつことができるようになってきたが、既習の知識を生かして自力で課題を解決したり創造的に考えたり、友達と意見交換して考えを深めたりすることはまだ十分でない。

い。

- ・ 自分の考えをまとめて発表したり，自分の思いをのびのびと表現したりする児童が増えてきたが，個人差が大きく，不十分な児童も少なくない。

2 今年度の重点目標（地域学校園内で共通する重点目標は，文頭に○または該当箇所に下線）
適切に課題を設定し，自力で解決したり，友達と意見交換して考えを深めたりする能力の育成

3 今年度の取組（地域学校園内で共通する取組は文頭に○，「学校教育スタンダード」に関する取組は文頭に☆）

（1）基礎・基本の確実な定着

☆○ 話の聞き方，発表の仕方，文章の書き方などの授業の心得の徹底（通年）

☆○ 個別指導を大切にしたり，「分かる授業」「楽しい授業」の展開

（☆○ 漢字の読み書きや計算力の定着を含む）

（2）学習指導の工夫・改善

☆ 学習内容定着度調査・学習・生活アンケートの結果の公表（3月）

- ・ 学習のねらいや見通しをつかむことができる明確な課題の提示と，課題意識を高める工夫（通年）

・ 習熟度別学習やかがやきルームの活用，少人数指導等の効果的实施（通年）

・ 「聞く・話す・書く」活動を通して，考えを深めたり広めたりする手だての工夫（通年）

（3）読書活動の充実

☆ 全校一斉読書の実施（毎週2回，朝の時間）

- ・ 読書月間の実施（10月～11月）

☆○ 図書館便りの定期的発行（通年）

○ 学年ごとの推薦図書の選定（通年）

- ・ 毎月1・2年は20冊，3～6年は10冊以上読んだ児童の表彰（通年）

・ 読書記録をつけること（通年）

・ 読み聞かせの実施（通年）

・ 学級文庫の充実・補充（通年）

・ 親子読書の推進（通年）

（4）家庭・地域との連携・協力

☆ 「町の先生」などのボランティアの協力を得た授業や学習支援の実施（通年）

- ・ 保護者会において，前年度の学習内容定着度調査，学習・生活アンケートの結果を生かした学習指導の説明（4月）

☆ 個人懇談において，規則正しい家庭での生活についての情報交換の場を設定（7月）

○ 適切な宿題や自主的な学習内容・方法の提示による家庭学習の習慣化（通年）

(様式5)

校 種	①小 ・ 中 どちらかに○	学校番号	3 9	学校名	宇都宮市立城山中央小学校
-----	------------------	------	-----	-----	--------------

平成25年度 校内研修（研究）計画及び管理主事・指導主事等の訪問要請計画

1 研究主題

主体的に学習に取り組み，ともに学び合う児童の育成 ～児童自らが問いをもち，進んで調べ，考えを深め合う社会科の授業づくり～

2 研修（研究）年間計画

月	内 容 及 び 方 法	□○ ◇◎印	要請する教科等 及び時期
4	1 研究計画作成，共通理解 ・ 研究テーマ ・ 内容，方法，組織 2 学年学級経営計画，教科経営計画の作成		
5	1 児童指導研修 2 社会科研修		
6	1 社会科研修 2 社会科の研究授業・授業研究会	○	社会科（中旬）
7	1 社会科研修 2 社会科の研究授業・授業研究会	○	社会科（中旬）
8	1 社会科研修 2 会話科研修 3 情報教育研修 4 研修報告会		
9	1 社会科研修		
10	1 社会科研修 2 児童指導研修		
11	1 社会科の研究授業・授業研究会 2 人権教育研修・研究授業		
12	1 研修報告会		

1	1 児童指導研修 2 今年度の研究のまとめと次年度の課題検討		
2	1 年間指導計画修正		
3			

※ 管理主事，指導主事等の要請時期については，月日を指定せずに「○月中旬」等と記入する。

※ □○◇◎欄には次のとおり記号を記入する。

□：「授業力向上プロジェクト」としての研究に関する要請訪問

○：学校単独での研究に関する要請訪問

◇：国県市の指定による研究に関する要請訪問

◎：作成要領2の(3)イ(ア) bに該当する要請訪問